

2023年11月16日

**明治安田生命「いい夫婦の日」に関するアンケート調査を実施
夫婦円満の秘訣は、「会話」と「思いやり」！
「マッチングアプリ」が1年以内に結婚した夫婦の“出会いのきっかけ”トップに！
理想の有名人夫婦は「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV3達成**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、11月22日の「いい夫婦の日」にちなんで、夫婦をテーマとしたアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 現在の夫婦関係

(1) 夫婦円満について（詳細は7ページ参照）

■夫婦円満の秘訣は“会話”と“思いやり”！？

- ・「夫婦仲が円満」であると回答した人は74.6%（昨年差▲0.5pt）と引き続き高い水準に！
- ・夫婦円満のために必要なことを聞くと、「よく会話する」（46.9%）がトップ！
- ・「夫婦仲が円満」と回答した人の会話時間は、平日でも2時間以上（145分）ある一方「夫婦仲が円満でない」人は41分と、100分以上の大きな差が！
- ・会話の時間をしっかりと取ることが、“夫婦円満”の秘訣かも？
- ・夫婦関係で不満なことを聞くと、全体では「生活面での細かなズレ」（25.2%）がトップ！
- ・「夫婦仲が円満でない」人の不満なことは、「思いやりがない」（35.8%）が1位に！
- ・冷めた夫婦の関係を修復するには、相手への思いやりが必要か！？

(2) プレゼントについて（詳細は10ページ参照）

■“物価高”“コロナ明け”が夫婦のプレゼント予算にも影響か？

- ・年間のプレゼント予算は45,595円（昨年差▲2,730円）と前年から減少！
- ・昨年度からプレゼント予算が減少した理由は「家計の余裕がなくなった」（39.6%）「物価が上昇しているため」（21.3%）「旅行や外出などプレゼント以外の支出が増えているため」（12.9%）と、物価高や、コロナ禍の反動で旅行や外出の支出が増えたことを反映する結果に！
- ・「夫婦仲が円満」な人のプレゼント予算は47,722円に対して、「夫婦仲が円満でない」人の予算は34,123円と、その差は13,599円に！
- ・出費は増えてしまってもプレゼント予算を確保することが夫婦円満のために大切かも？

明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一が

夫婦間のプレゼント予算 について分析！

【ご照会先】
広報部 広報グループ TEL 03-3283-8054

2. 夫婦の出会いと結婚

(1) 出会いのきっかけについて (詳細は13ページ参照)

■ 1年以内の結婚では「マッチングアプリ」「職場の出会い」が同率トップ!

「マッチングアプリ」で4人に1人が結婚する時代に!

コロナ明けの影響か? 定番の「職場での出会い」も復活!

- ・ 1年以内に結婚した夫婦の出会いのきっかけは「マッチングアプリ」(25.0%)と「職場での出会い」(25.0%)が同率トップ!
- ・ “婚活”で「マッチングアプリ」を利用した人に動機を聞くと、トップは「手軽に出会えるから」(46.7%)、「職場に出会いがないから」(46.7%)、次いで、「好みの相手を選ぶことができるから」(41.7%)。身近な出会いがない人にとって、手軽に好みの相手を選べることが人気の理由に!
- ・ コロナ禍で落ち込んでいた「職場での出会い」も、結婚2年目の夫婦(13.3%)と比べ11.7ptアップ! コロナ明けで出勤が増えたことや、飲み会などの職場での交流が増えたことが、定番の「職場の出会い」復活に影響しているのかも?

(2) 婚活について (詳細は15ページ参照)

■ あの番組も影響か? “婚活”方法に年代ごとの特徴が!

- ・ 「婚活をしたことがある」と回答した人は15.4%で、年代別で見ると30代の5人に1人(21.1%)が“婚活”の経験あり
- ・ “婚活”の方法は「婚活パーティー・婚活イベント」が首位(40.0%)に!
- ・ 年代別で“婚活”方法のトップを見てみると、20代は「マッチングアプリ」が51.0%でトップに。SNSの浸透で、インターネットでのコミュニケーションに抵抗の少ない若者ならではの傾向か?
- ・ 30代と50代をみると、「婚活パーティー・婚活イベント」がトップ(30代:50.9%、50代:54.1%)!“ちょっと待ったあ!”で有名なあの番組や、あの芸人が司会していた大規模なお見合いイベントバラエティーの影響か?“婚活番組世代”と言えるのかもしれない!
- ・ 40代では「合コン」(48.9%)がトップ!多くのドラマで合コンのシーンが登場していた影響もあるのかも?
- ・ 60代・70代のトップは「お見合い」(60代:60.0%、70代:66.7%)。70代からは「文通」との回答もあり!
- ・ “婚活”のやり方には、当時のトレンドが反映される結果に!

(3) 新婚旅行について（詳細は17ページ参照）

■新婚旅行の主流は国内に！円安が令和のハネムーンにも影響か！？

- ・新婚旅行に行ったことがある人は約4人に3人（74.7%）！
- ・1年以内に結婚した人に聞くと、新婚旅行に行った人は47.9%と半数に満たず。行き先も海外26.1%に対して国内73.9%と、国内旅行が主流に！
- ・コロナ禍前に結婚した人（結婚して5年以上）では、新婚旅行の行き先は海外（平均55.6%）が国内（平均44.4%）を上回っており、コロナ禍前の主流は海外旅行だったことがわかる結果に！
- ・新型コロナウイルス感染症の流行や、円安の進行が、令和のハネムーンにも影響か？

明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝が
新婚旅行にかかる行き先 円安の影響について分析！

3. 夫婦の結婚への価値観

(1) 結婚について（詳細は20ページ参照）

■「家庭をもってこそ一人前」はもう古い！？“結婚はすべき”理由は「寂しいから」！

- ・「結婚はすべき」と回答した人は76.4%と、7割以上が結婚に対して肯定的な結果に！
- ・「結婚はすべき」と思う理由は、「ひとりだと寂しいから」（32.9%）、「家庭をもってこそ一人前だと思うから」（21.9%）、「子育てをしたいから」（11.1%）
- ・年代別にみると、20代では「ひとりだと寂しいから」（40.7%）が最も多い一方で、70代では「家庭をもってこそ一人前だと思うから」（35.6%）がトップと、年代で価値観に差が！
- ・「家庭をもってこそ一人前だと思うから」という“外からの見え方”よりも、精神面で寄り添える人と過ごしたいという“内面”を優先するような価値観に変化しているのかも！？

(2) 結婚式について（詳細は21ページ）

■「結婚式をあげるべき」と思っているのは実は男性が多い！？

男女の間で意外なギャップが！

- ・「結婚式をあげるべき」と回答した人は54.8%と半数以上に！
- ・「結婚式をあげるべき」と思う理由は、「記憶に残るイベントだから」（65.7%）、「結婚生活の満足度に関わるから」（16.0%）、「結婚相手が望むから」（7.0%）
- ・男女別にみると、男性の63.3%が「結婚式をあげるべき」と考えている一方、女性は46.3%と半数に満たず、男性の方が17.0pt高い結果に！
- ・“女性の方が結婚式を挙げることを望んでいる”イメージもあるなか、意外なギャップが浮き彫りに！

4. 理想の有名人夫婦（詳細は23ページ参照）

■結婚30周年を迎える「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV3達成！

- ・第1位は、今年結婚30周年を迎える「ヒロミ・松本伊代」夫妻。幅広い年代からの支持を集めてV3を達成！
- ・第2位は「DAIGO・北川景子」夫妻。20～30代でみるとトップで、「夫のサポートで、妻が輝き続けているのを感じる」などの声も！
- ・第3位は「唐沢寿明・山口智子」夫妻。特に50代からの支持を集めてランクイン！
- ・第7位の「賀来賢人・榮倉奈々」夫妻は、昨年の20位から大きくジャンプアップ。
“2人ともおしゃれで素敵”などの理由で、特に20代からの人気があっ！

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2023年10月12日（木）～10月16日（月）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,620人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	計
男性	135	135	135	135	135	135	810
女性	135	135	135	135	135	135	810
計	270	270	270	270	270	270	1,620

【 目 次 】

<u>1. 現在の夫婦関係</u>	．．．．． 7ページ
(1) 夫婦円満について	．．．．． 7ページ
(2) プレゼントについて	．．．．． 10ページ
<u>2. 夫婦の出会いと結婚</u>	．．．．． 13ページ
(1) 出会いのきっかけについて	．．．．． 13ページ
(2) 婚活について	．．．．． 15ページ
(3) 新婚旅行について	．．．．． 17ページ
<u>3. 夫婦の結婚への価値観</u>	．．．．． 20ページ
(1) 結婚について	．．．．． 20ページ
(2) 結婚式について	．．．．． 21ページ
<u>4. 理想の有名人夫婦</u>	．．．．． 23ページ

1. 現在の夫婦関係

(1) 夫婦円満について

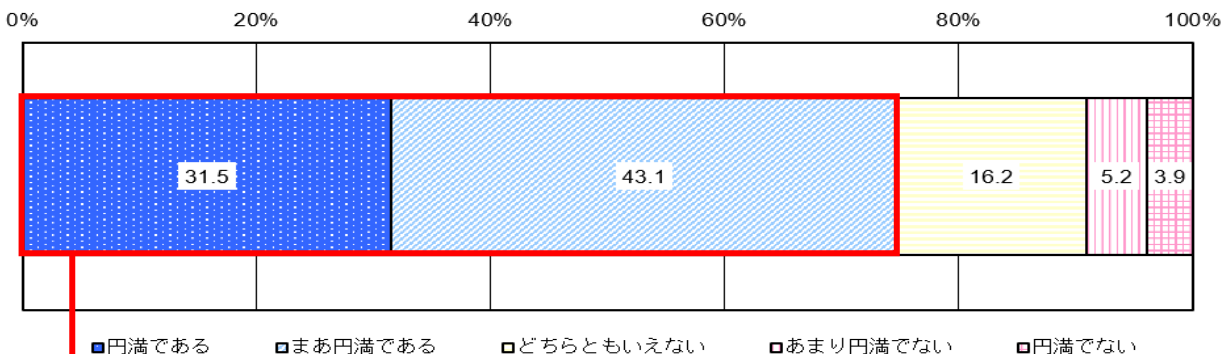
夫婦円満の秘訣は「会話」と「思いやり」！？
「夫婦仲が円満」な夫婦では、平日でも2時間以上の会話時間が！
夫婦の“不満なこと”も男女でギャップが存在！？

① 現在の夫婦関係と円満の秘訣について

- 現在の夫婦関係が円満であるかについて聞いてみました。
- 「夫婦仲が円満」と回答した人（「円満である」「まあ円満である」の合計）は74.6%で、昨年の75.1%（▲0.5pt）とほぼ同じとなり、引き続き高い水準となりました。
- 続いて「夫婦円満のために必要なこと」聞きました。
- 全体では「よく会話する」（46.9%）がトップ、次いで「感謝の気持ちを伝える」（37.5%）、「干渉しすぎない」（29.6%）となりました。
- 「夫婦の会話時間」について、「夫婦仲が円満」「夫婦仲が円満でない」との回答別にみると、「夫婦仲が円満」と回答した人は平日145分の会話時間があり、「夫婦仲が円満でない」と回答した人は41分にとどまる結果となりました。
- 家事や仕事で忙しい平日でも、夫婦の会話時間をしっかりと取ることが、夫婦円満の秘訣なのかもしれません。

Q. 現在の夫婦関係は円満ですか（単一回答）

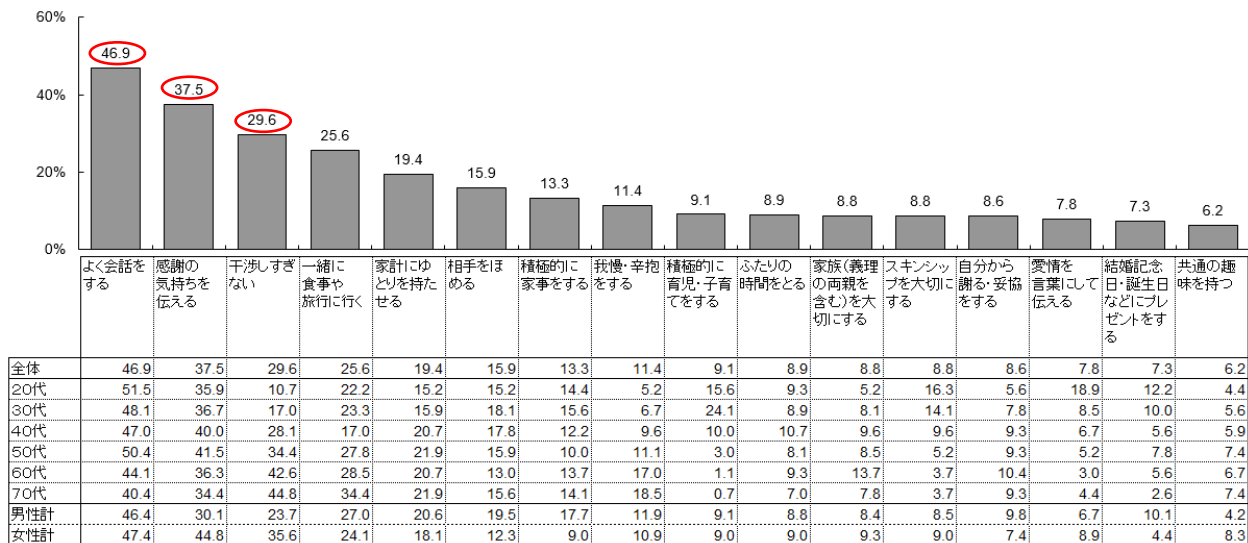
（全体）



74.6%が“夫婦仲が円満”と回答！

Q. 夫婦円満のため必要だと思うことは何ですか（複数回答）

（全体、世代別、男女別）



Q. 夫婦の会話時間を教えてください

（全体、円満・円満でない）

		0分 (%)	1～30分 (%)	～1時間 (%)	～2時間 (%)	～3時間 (%)	3時間超 (%)	平均 (分・0分含む)
平日	全体	3.6	17.0	26.2	23.0	14.4	15.7	126
	円満である計	1.3	11.3	24.1	26.8	17.5	19.0	145
	円満でない計	18.2	50.0	19.6	6.1	3.4	2.7	41
休日	全体	2.3	10.0	15.4	17.3	13.5	41.5	233
	円満である計	0.7	4.3	11.7	16.4	16.0	51.0	275
	円満でない計	13.5	44.6	19.6	12.8	4.7	4.7	60

“夫婦仲が円満” “夫婦仲が円満でない” 夫婦の会話時間には
平日で104分、休日で215分の差が！！

② 夫婦関係の“不満なこと”

○現在の夫婦関係で“不満なこと”について聞きました。

○全体では「生活面での細かなズレ」(25.2%)がトップに。次いで「共通の趣味がない」(14.6%)、「家計に余裕がない」(13.7%)となりました。

○特に「生活面での細かなズレ」は60～70代からの回答が多く、3割以上(ともに32.6%)が不満という結果になりました。夫婦生活が長くなるにつれて、細かな“ズレ”が目につくようになるのでしょうか。

○男女別の“不満なこと”をみると、トップは男女ともに「生活面での細かなズレ」ですが、2位と3位に違いがありました。

○男性の“不満なこと”は「共通の趣味がない」(19.1%)「ひとりの時間がとれない」(14.4%)が続きますが、女性は「家事をしない・言わないとやらない」(17.4%)「家計に余裕がない」(14.7%)が挙がっています。

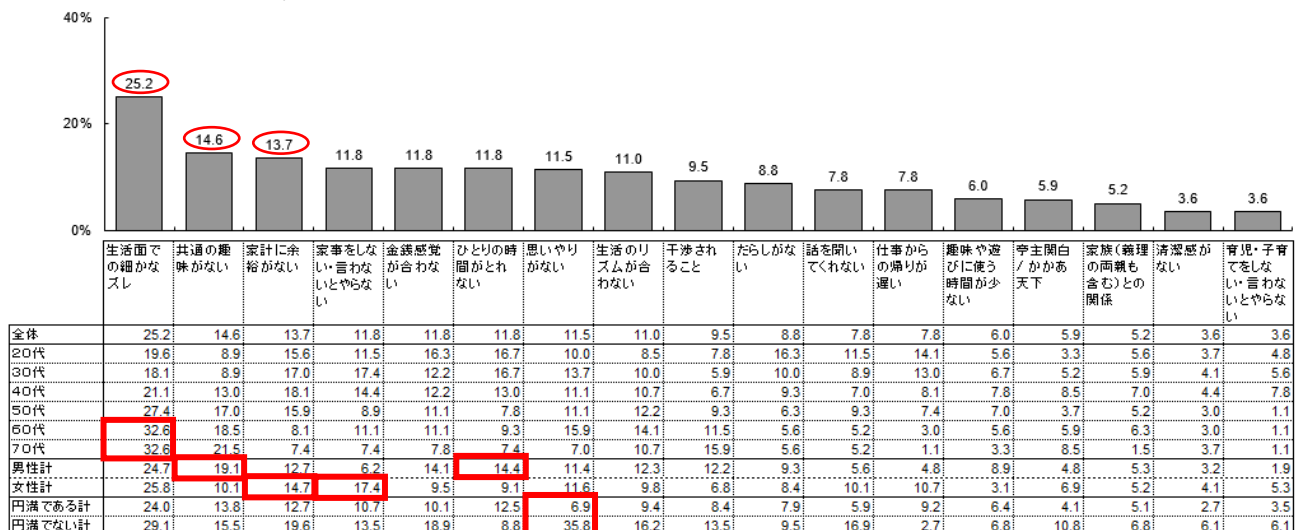
○男性は趣味や遊びなど、ひとりの時間を大切に感じる一方で、女性は家事やお金など、家庭内での不満がたまっているのかもしれませんが。

○最後に、「夫婦仲が円満でない」と回答した人の“不満なこと”をみてみました。

○「夫婦仲が円満でない」人は、「思いやりがない」(35.8%)ことがトップとなりました。これは「夫婦仲が円満」な人の回答(6.9%)と比べて5倍以上の差があります。冷めた夫婦関係を温めなおすには、相手を思いやる気持ちが一番大切なのかもしれません。

Q. 夫婦関係で不満なことは何ですか(複数回答)

(全体、世代別、男女別、円満・円満でない)



“夫婦仲が円満” “夫婦仲が円満でない” 夫婦で
「思いやりがない」は5倍以上の差が！

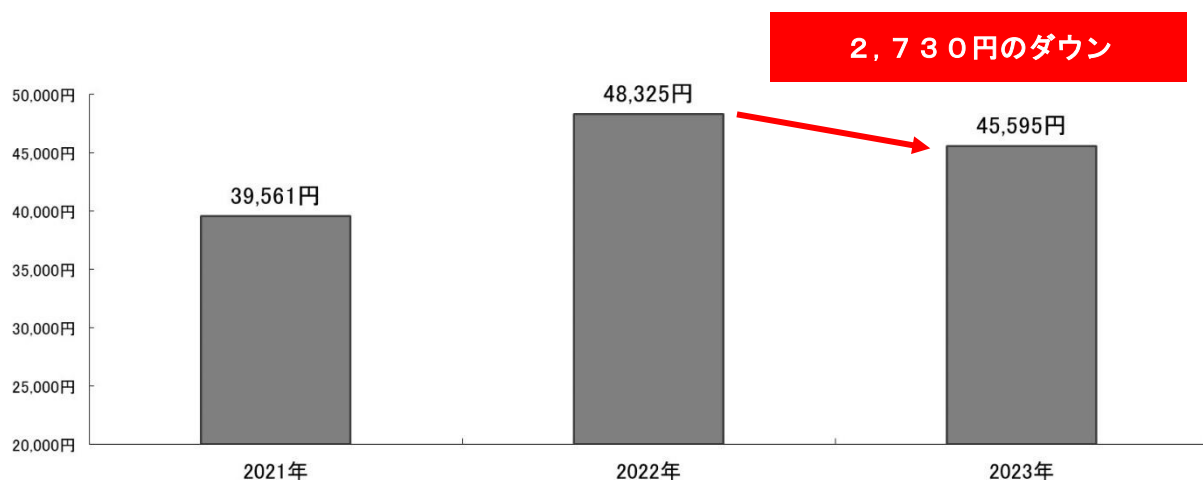
(2) プレゼントについて

“物価高” “コロナ明け” が夫婦のプレゼント予算にも影響か？

- 1年間の夫婦間でのプレゼントについて聞いてみました（対象：20代から50代）。
- 1年間のプレゼント予算は45,595円で、昨年の48,325円から2,730円の減少となりました。
- 昨年度からプレゼント予算が変化した理由について聞いてみると、トップは「家計の余裕がなくなった」（39.6%）、次いで「物価が上昇しているため」（21.3%）、「旅行や外出などプレゼント以外のイベントへの支出が増えているため」（12.9%）で、物価高の影響やコロナ禍の反動で旅行・外出の支出が増えたことを反映する結果になりました。
- プレゼントが夫婦関係に与える影響について見てみました。
- 「夫婦間でプレゼントを年に1回以上渡す」人では、「夫婦仲が円満」の回答が81.0%と8割を超えているのに対し、「1回もプレゼントを渡さない」人では57.7%と、23.3ptの差がありました。
- また、プレゼント予算にも大きな差があり、「夫婦仲が円満」と回答している人の予算は47,722円に対し、「夫婦仲が円満でない」と回答した人は34,123円で、その差は13,599円となりました。
- お財布事情はきつくなっても、気持ちを込めたプレゼントを贈ることが“夫婦円満”のために大切なことなのかもしれません。

Q. 1年間のプレゼント予算を教えてください

（20代から50代が回答。プレゼント予算が0円は含まない）



Q. 1年間のプレゼント予算を教えてください

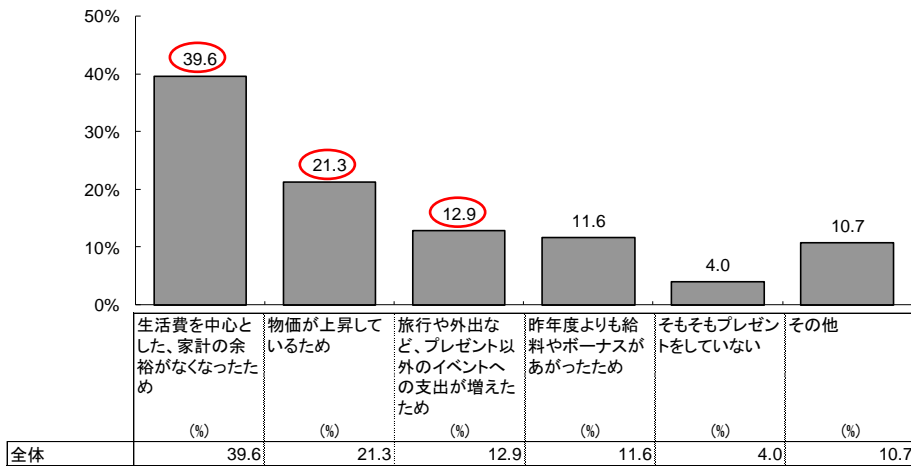
(全体、円満・円満でない(20代から50代が回答))

	0円 (%)	~5千円 (%)	~1万円 (%)	~2万円 (%)	~3万円 (%)	~5万円 (%)	~10万円 (%)	10万円超 (%)	平均 (円:0円含まない)
全体	26.8	6.2	20.7	15.1	8.4	9.4	8.5	4.8	45,595
円満である計	20.8	6.2	21.4	16.4	9.8	10.5	9.5	5.4	47,722
円満でない計	46.7	10.3	15.9	9.3	3.7	4.7	4.7	34,123	

“夫婦仲が円満” “夫婦仲が円満でない” 夫婦で
1年間のプレゼント予算に13,599円の差が存在

Q. プレゼント予算が変化した理由は何ですか(単一回答)

(20代から50代が回答)



■ プレゼント回数と夫婦仲の回答について

(円満・円満でない)

	プレゼント回数	
	0回 (%)	1回以上 (%)
円満である計	57.7	81.0
円満でない計	42.3	19.0

～フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



夫婦間でのプレゼント予算は、前年から2,730円、比率にして6%減るという結果になりました。理由については、「家計の余裕がなくなったため」、「物価が上昇しているため」、「旅行や外出などプレゼント以外の支出が増えているため」が上位を占めており、いずれもうなずける理由です。

総務省によれば、2023年1-9月の消費者物価指数（総合指数）は前年同期比で+3.3%上昇しています。食品の上昇率が同+8.2%に達するなど、とりわけ生活必需品の価格上昇が家計を圧迫しています。また、同じ総務省の統計では、コロナ明けに伴うレジャー・外出の増加から、二人以上世帯の1-9月の宿泊料が世帯当たり前年同期比で4,714円増加（+31%）、パック旅行費が8,427円増加（+64%）していることが確認できます。こうみると、プレゼント代金が節約の対象になるのはやむを得ない面もあります。

ただ、プレゼントの目的はパートナーに感謝の気持ちを伝えることです。感謝の気持ちが金額に比例するわけではないでしょう。金額より回数が重要という調査もあります。夫婦円満のためには努力が必要です。これまで習慣がなかった方は、さりげないちょっとしたプレゼントで、小さなありがとうを伝えるところから始めてみてはいかがでしょうか。

2. 夫婦の出会いと結婚

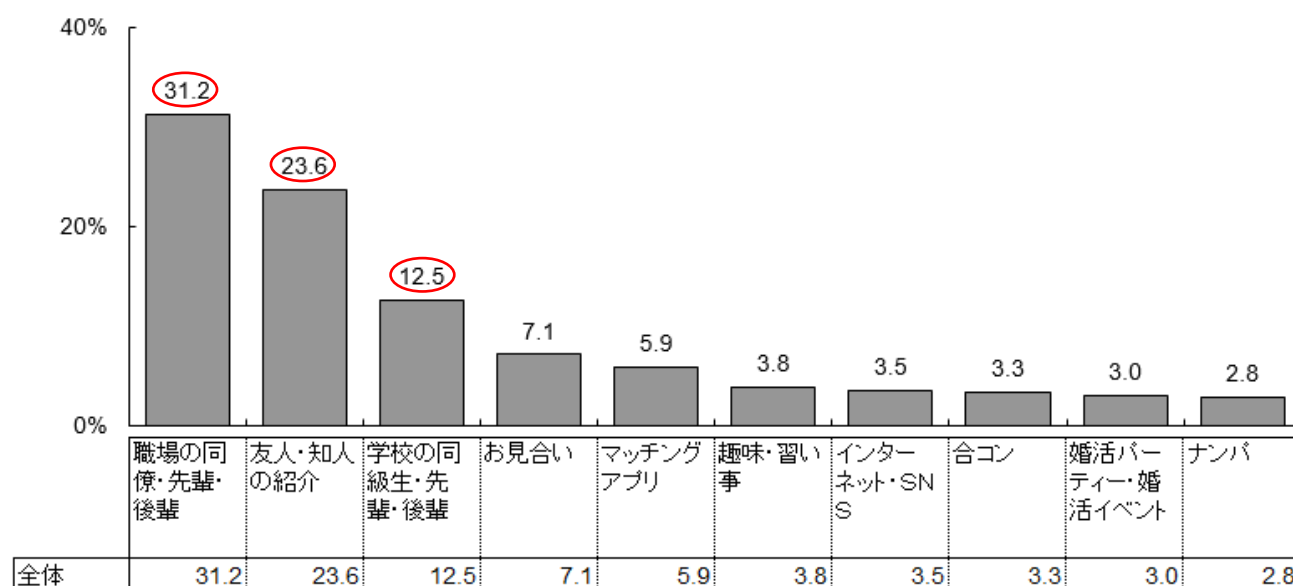
(1) 出会いのきっかけについて

1年以内の結婚では「マッチングアプリ」「職場の出会い」が同率トップ！
 「マッチングアプリ」で4人に1人が結婚する時代に！
 コロナ明けの影響か？定番の「職場の出会い」も復活！

- 夫婦の出会いのきっかけについて聞いてみました。
- 全体では「職場の同僚・先輩・後輩」(31.2%)がトップ、次いで「友人・知人の紹介」(23.6%)、「学校の同級生・先輩・後輩」(12.5%)となりました。
- 1年以内に結婚した夫婦で見ると、「マッチングアプリ」(25.0%)と「職場の同僚・先輩・後輩」(25.0%)が同率でトップとなりました。いまや、4人に1人が「マッチングアプリ」で結婚する時代となっています。
- また、“婚活”で「マッチングアプリ」を利用したことがある人に動機を聞くと、トップは「手軽に出会うことができるから」(46.7%)、次いで「職場に出会いがないから」(46.7%)、「好みの相手を選ぶことができるから」(41.7%)で、身近な出会いがない人にとって、手軽に好みの相手を選べるのが人気の理由となっているようです。
- 「職場の同僚・先輩・後輩」については、コロナ禍による外出制限やテレワークの影響からか、コロナ禍以降減少傾向が続き、結婚から1～2年目の夫婦では13.3%まで落ち込みましたが、結婚1年以内の夫婦では、11.7ptアップしました。
- コロナ明けでテレワークが減少し出勤が増えたことや、飲み会など職場での交流が活発になったことで、定番の「職場の出会い」による結婚が復活したのかもしれませんが。

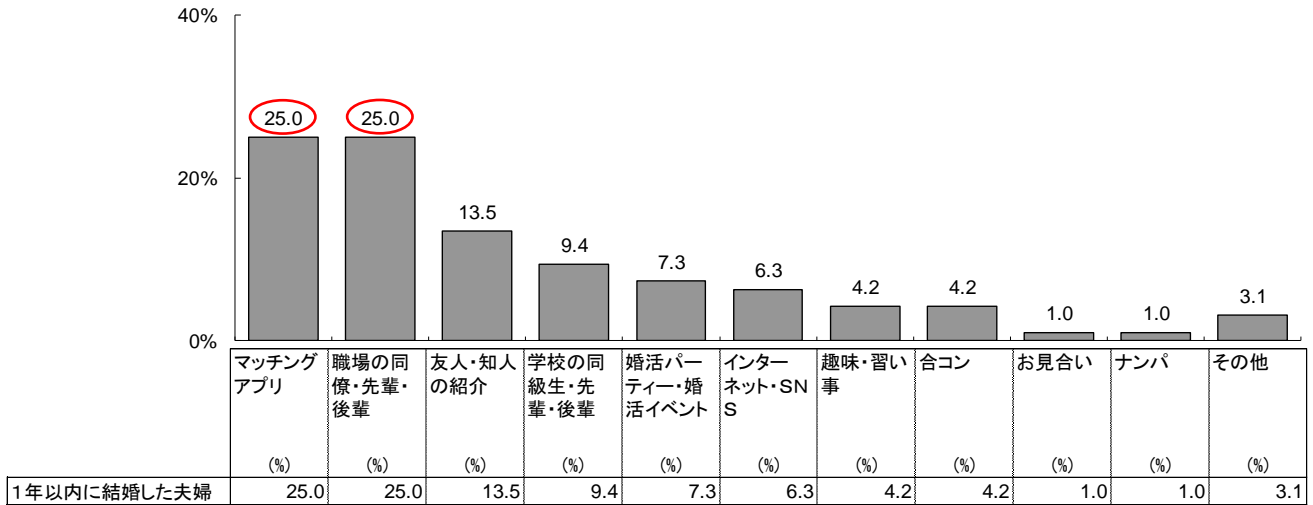
Q. 夫婦の出会いのきっかけは何ですか（単一回答）

(全体)



Q. 夫婦の出会いのきっかけは何ですか（単一回答）

（1年以内に結婚した夫婦が回答）



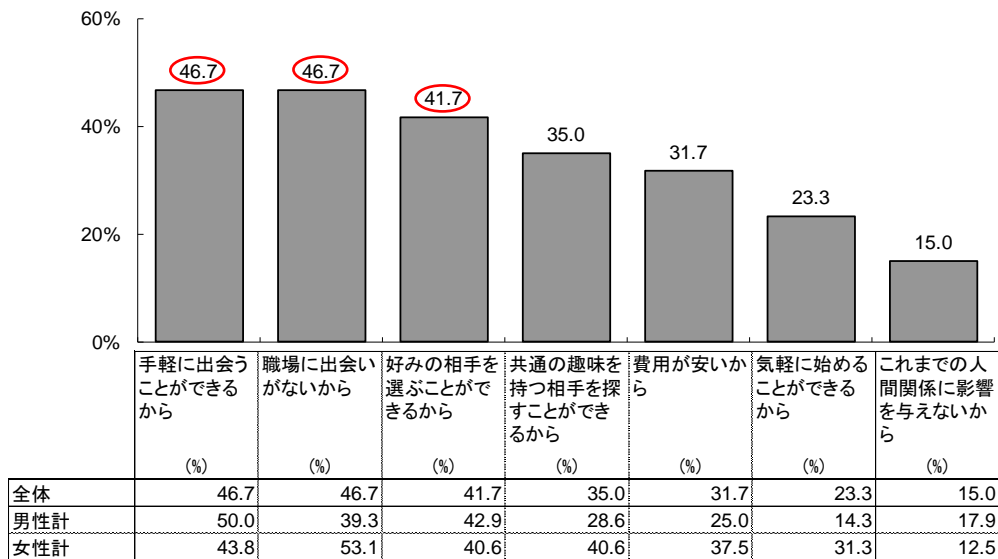
■夫婦の出会いのきっかけが「職場の同僚・先輩・後輩」の人 結婚経過年数別比較

結婚経過年数	割合
4年以上	33.6%
3～4年	22.1%
2～3年	23.0%
1～2年	13.3%
～1年以内	25.0%

1年以内の夫婦では、昨年から11.7ptアップ！
コロナ禍で落ち込んでいた「職場での出会い」が復活か！

Q. 「マッチングアプリ」を利用した理由は何ですか（複数回答）

（“婚活”で「マッチングアプリ」を利用したことがある人が回答）



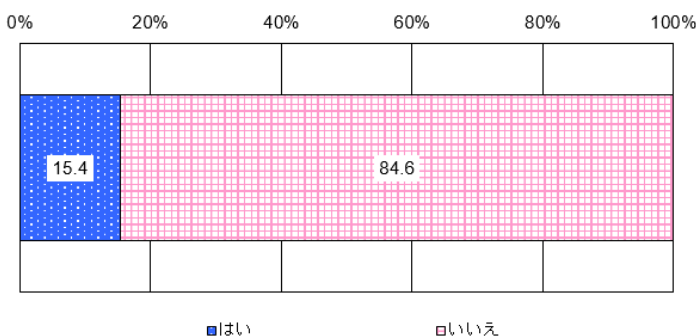
(2) 婚活について

あの番組も影響か？ “婚活” 方法に年代ごとの特徴が！

- 結婚相手を探す“結婚活動”、いわゆる“婚活”をしたことがあるか聞いてみました。
- 「婚活をしたことがある」と回答した人は15.4%で、年代別でみると30代の5人に1人（21.1%）が“婚活”の経験があることがわかりました。
- “婚活”の方法を聞くと、全年代では「婚活パーティー・婚活イベント」（40.0%）がトップ、次いで「友人・知人の紹介」（31.6%）、「お見合い」（28.4%）となりました。
- 年代別での“婚活”方法の1位をそれぞれみていきました。
- 20代では「マッチングアプリ」（51.0%）となりました。SNSの浸透により、インターネットでのコミュニケーションに抵抗の少ない若者ならではの傾向でしょうか。
- 30代と50代をみると、「婚活パーティー・婚活イベント」が半数を超えて（30代：50.9%、50代：54.1%）トップとなりました。“ちょっと待ったあ！”で有名なあの番組や、あの芸人が司会していた大規模なお見合いイベントバラエティーのためでしょうか。テレビ番組に影響を受けた、“婚活番組世代”と言えるのかもしれませんが。
- 40代では「合コン」（48.9%）がトップになりました。多くのドラマで合コンシーンが登場していた影響でしょうか。
- 60代・70代では「お見合い」（60代：60.0%、70代：66.7%）がトップとなりました。70代の中には「文通」との回答もあり、時代を感じさせます。
- このように、“婚活”の方法は、時代背景や当時のトレンドが反映されており、年代ごとに特徴が出る結果となりました。

Q. 婚活したことはありますか（単一回答）

（全体・世代別）

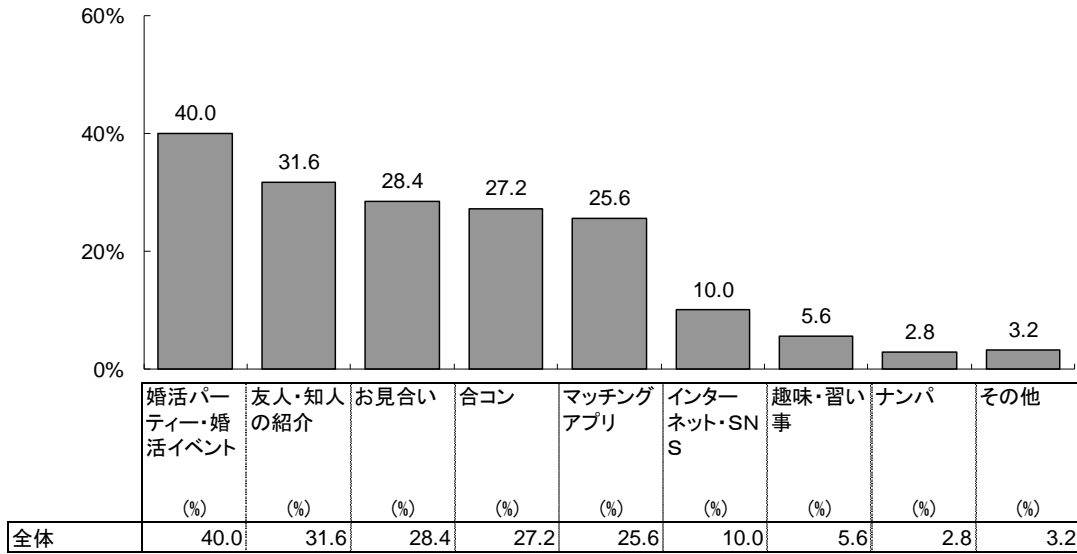


	はい	いいえ
全体	15.4%	84.6%
20代	18.1%	81.9%
30代	21.1%	78.9%
40代	16.7%	83.3%
50代	13.7%	86.3%
60代	13.0%	87.0%
70代	10.0%	90.0%

30代の5人に1人が「婚活」を経験して結婚に！

Q. 婚活に使用したことがあるツールを教えてください（複数回答）

（“婚活”をしたことがあると回答した人）



■年代別の“婚活”方法

年代	1位	2位	3位
20代	マッチングアプリ(51.0%)	婚活パーティー・婚活イベント(40.8%)	合コン／友人・知人の紹介(20.4%)
30代	婚活パーティー・婚活イベント(50.9%)	マッチングアプリ(45.6%)	友人・知人の紹介(36.8%)
40代	合コン(48.9%)	婚活パーティー・婚活イベント(46.7%)	友人・知人の紹介(37.8%)
50代	婚活パーティー・婚活イベント(54.1%)	お見合い(37.8%)	合コン(32.4%)
60代	お見合い(60.0%)	友人・知人の紹介(34.3%)	婚活パーティー・婚活イベント(17.1%)
70代	お見合い(66.7%)	友人・知人の紹介(33.3%)	婚活パーティー・婚活イベント(14.8%)

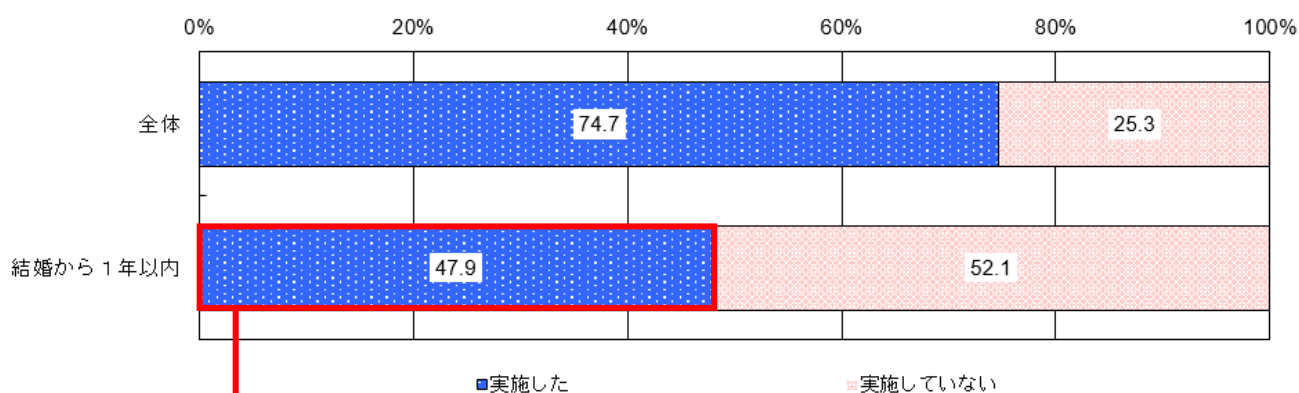
(3) 新婚旅行について

新婚旅行の主流は国内に！円安が令和のハネムーンにも影響か！？

- 新婚旅行について聞いてみました。
- 「新婚旅行に行った」人は全体の74.7%で、約4人に3人が新婚旅行に行っていることがわかりました。
- 1年以内に結婚した人に聞くと、「新婚旅行に行った」人は47.9%と半数にも満たない結果となりました。行き先については、海外が26.1%であるのに対し、国内が73.9%と、国内旅行が主流となっています。
- コロナ禍前に結婚した夫婦（結婚して5年以上）では、新婚旅行の行き先は海外（平均55.6%）が国内（平均44.4%）を上回っており、コロナ禍前の新婚旅行の主流は海外旅行だったことがわかります。
- 新型コロナウイルス感染症の流行や、円安の進行が、令和のハネムーンに大きく影響を与えているようです。

Q. 「新婚旅行」を実施しましたか（単一回答）

（全体・結婚から1年以内の夫婦）



1年以内に結婚した人で「新婚旅行を実施した」のは47.9%

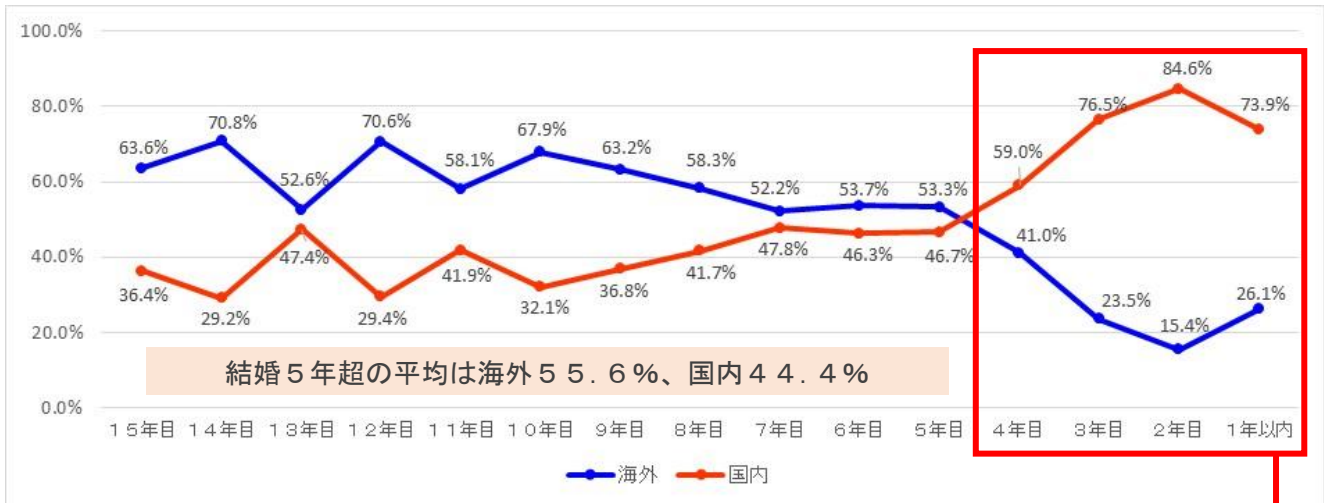
Q. 「新婚旅行」を実施しましたか

（結婚経過年数別）

	～1年 (%)	～3年 (%)	～5年 (%)	～10年 (%)	～15年 (%)	～20年 (%)	～25年 (%)	25年超 (%)	全体 (%)
実施した	47.9	49.0	56.1	70.7	70.7	74.4	77.5	89.8	74.7
実施していない	52.1	51.0	43.9	29.3	29.4	25.6	22.5	10.2	25.3

Q. 「新婚旅行」の行先を教えてください

(結婚経過年数別)



結婚4年目以下の夫婦から、国内旅行が主流に！

Q. 「新婚旅行」に要した費用を教えてください

(全体・結婚経過年数別)

	~5万円 (%)	~10万円 (%)	~20万円 (%)	~30万円 (%)	~50万円 (%)	~100万円 (%)	~200万円 (%)	200万円以上 (%)	わからない、おぼえていない (%)	平均(円:0円含まない/わからない、おぼえていない除く)
全体	1.7	3.6	7.9	5.2	10.5	15.1	3.3	0.2	52.5	565,078
~1年	2.2	4.3	26.1	8.7	15.2	15.2	2.2	-	26.1	415,588
~3年	5.5	11.0	11.0	9.6	13.7	11.0	4.1	-	34.2	424,375
~5年	4.3	5.8	2.9	2.9	14.5	18.8	5.8	1.4	43.5	669,231
~10年	3.7	6.7	8.1	5.2	7.4	25.2	2.2	-	41.5	559,621
~15年	0.9	4.4	7.1	2.7	15.9	14.2	8.0	-	46.9	640,167
~20年	1.1	2.3	11.5	12.6	14.9	16.1	5.7	-	35.6	543,554
~25年	1.9	-	7.5	0.9	7.5	16.8	2.8	0.9	61.7	737,317
25年超	0.7	2.2	6.4	4.8	8.8	12.6	2.1	-	62.4	555,187

～エコノミスト 前田 和孝はこう見る！～

■明治安田総合研究所 エコノミスト 前田 和孝



1年以内に結婚した人で、新婚旅行に行った人は47.9%と半数に満たないことが明らかになりました。5年超～10年以内に結婚した人で、新婚旅行に行った人の割合が70.7%である一方、コロナの感染拡大が深刻化していた1年超～3年以内に結婚した人は49.0%と大きく低下しています。コロナ禍が収束してもこうした状況に変化は見られず、新婚夫婦にとって新婚旅行はもはや優先度の高いイベントではなくなっていると言えそうです。

また、1年以内に結婚した人の新婚旅行の行き先は国内が7割以上を占め、円安の影響で海外旅行のハードルが上がっている可能性が示されています。コロナ禍前の2019年末に1ドル＝110円程度だったドル円相場は、足元では1ドル＝150円程度まで円安が進んでいます。為替だけで費用が4割弱も増えるとなると、いくら新婚旅行とはいえ、海外旅行を躊躇する人が多くなるのもうなずけます。新婚旅行に要する費用も、5年超～10年以内に結婚した人は50万円超～100万円以下との回答が最も多いのに対し、1年以内の人は10万円超～20万円以下が多くなっています。国内旅行にしたことで費用が抑えられたという面もありそうですが、物価上昇によって日々の生活費が増えたことで、大きな出費ができなくなったというのも理由の一つかもしれません。

3. 夫婦の結婚への価値観

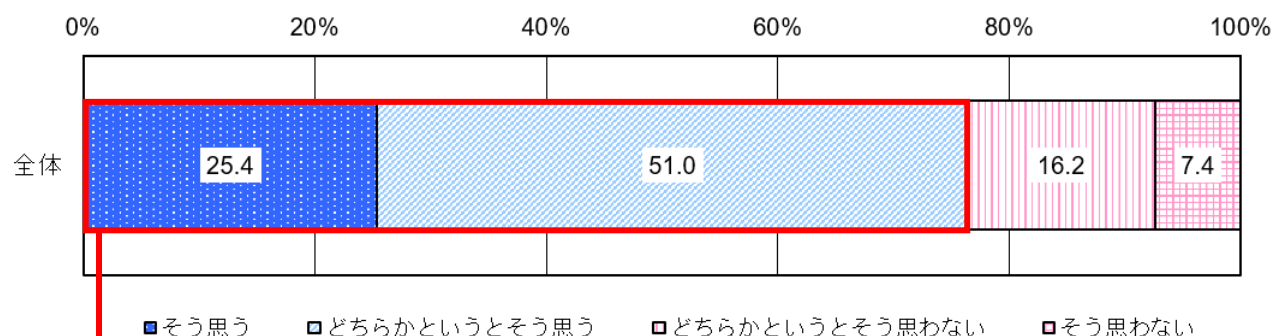
(1) 結婚について

「家庭をもってこそ一人前」はもう古い！？
“結婚はすべき” と考える理由のトップは「ひとりだと寂しい」から！

- “結婚はすべきか” という価値観について聞きました。
- 「結婚はすべき」（「そう思う」「どちらかというと思う」の合計）は76.4%と、7割以上が結婚に対して肯定的な回答でした。
- 「結婚はすべき」と思う理由について聞くと、「ひとりだと寂しいから」（32.9%）、「家庭をもってこそ一人前だと思うから」（21.9%）、「子育てをしたいから」（11.1%）となりました。
- また、年代別に“結婚はすべき” とする理由をみてみました。
- 「ひとりだと寂しいから」とする年代は、20代（40.7%）が最も多く、最も少ない70代（23.1%）と比べると17.6ptの差がありました。
- 一方で、「家庭をもってこそ一人前だと思うから」と回答した年代は、70代（35.6%）が最も多く、最も少ない20代（10.1%）と比較して25.5ptの差となりました。
- 「家庭をもってこそ一人前」という“外からの見え方”よりも、精神面で寄り添える人と一緒に過ごしたいという“内面”を優先するような価値観に変化しているのかもしれませんが。

Q. 結婚はすべきだと思いますか

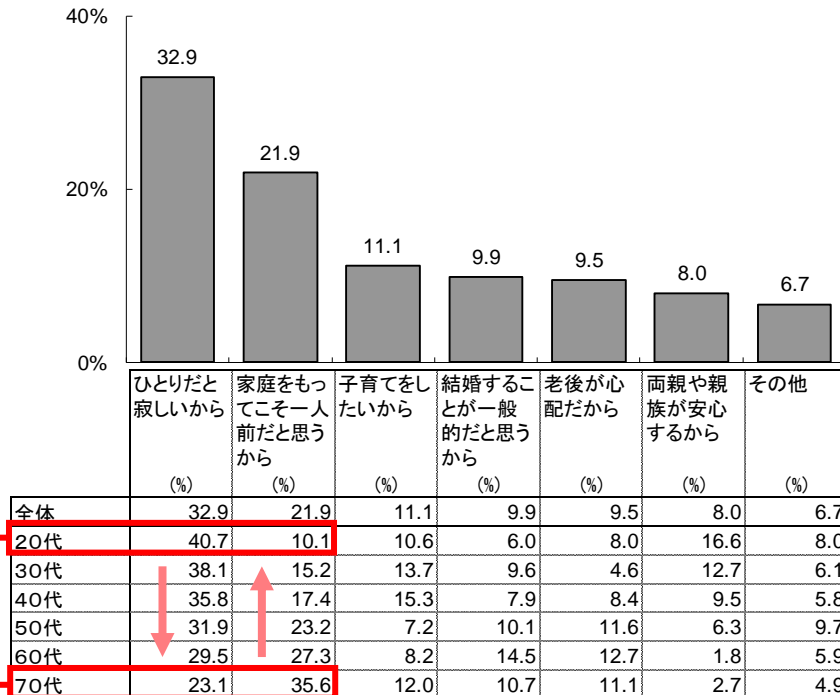
(全体)



76.4%が「結婚はすべき」と回答！

Q. 結婚はするべきと思う理由を教えてください（単一回答）

（全体）



70代から20代にかけて、「結婚をするべき」理由が「家庭をもってこそ一人前」から「ひとりだと寂しいから」に変化

(2) 結婚式について

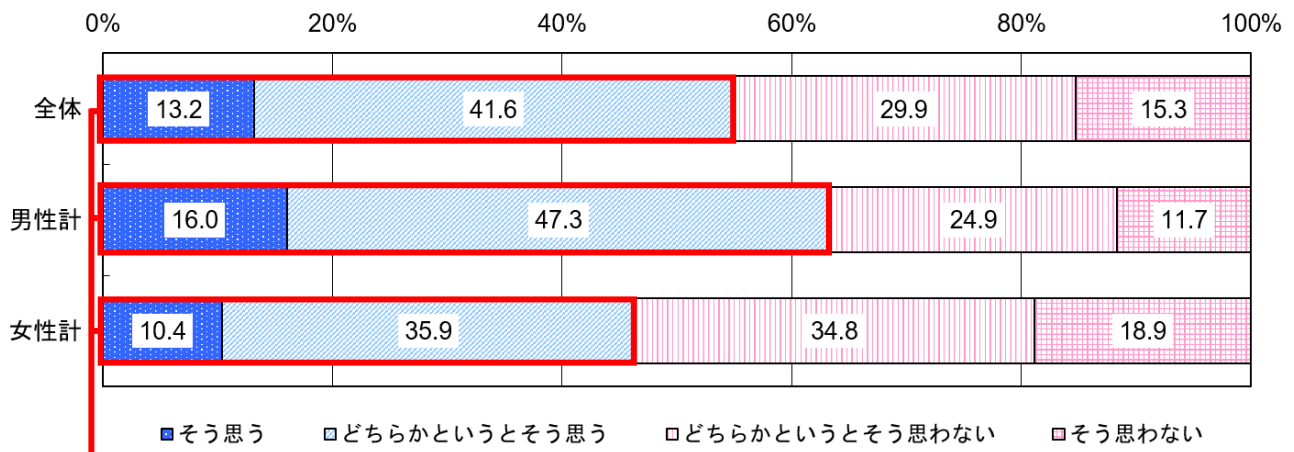
“結婚式をあげるべき”と思っているのは実は男性が多い！？

男女の間で意外なギャップが！

- “結婚式をあげるべきか” という価値観について聞きました。
- 「結婚式をあげるべき」と回答した人は54.8%と半数以上になりました。
- 「結婚式をあげるべき」と思う理由について聞くと、「記憶に残るイベントだから」（65.7%）、「結婚生活の満足度に関わるから」（16.0%）、「結婚相手が望むから」（7.0%）となりました。
- 男女別にみると、男性の63.3%が「結婚式をあげるべき」と思っている一方、女性は46.3%と半数に満たず、男性の方が17.0pt高い結果となりました。
- 女性の方が結婚式を挙げることを望んでいるというイメージもありますが、意外なギャップなのかもしれません。
- また、男性で「結婚式をあげるべき」と思っている人のうち11.1%が「結婚相手が望むから」と回答しており、女性の回答（1.3%）と9.8ptの差がありました。パートナーの記憶に残るイベントを大切にしたいという、男性の気持ちが表れているのかもしれません。

Q. 結婚式をあげるべきだと思いますか

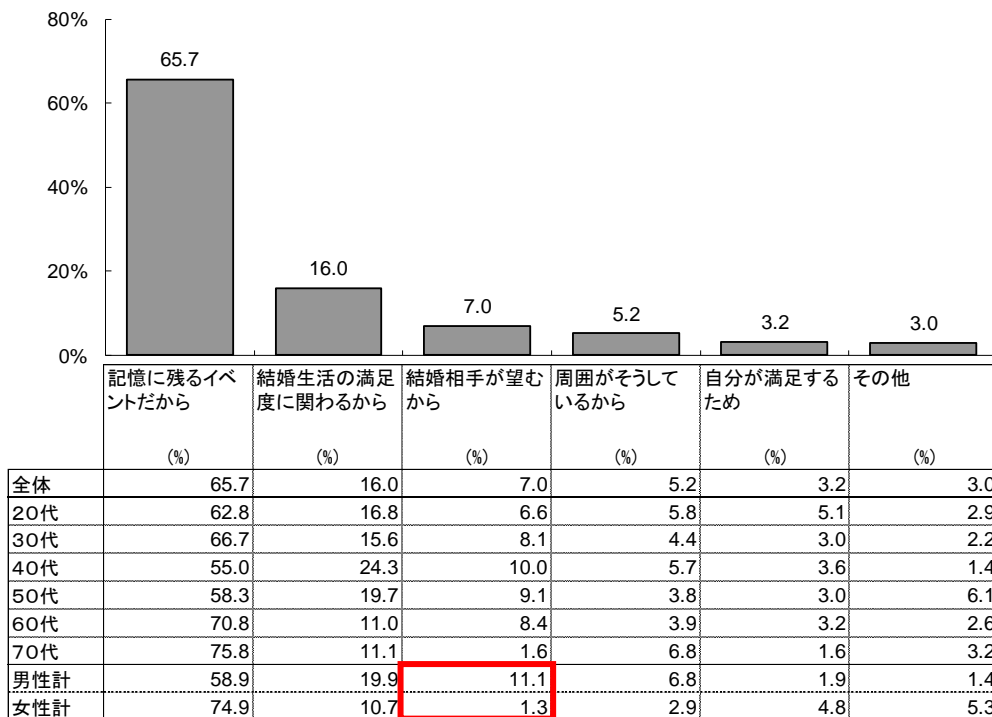
(全体、男性・女性)



**「結婚式をあげるべき」と思う人は全体で54.8%！
男女別では、男性63.3%、女性46.3%と17.0ptの差が！**

Q. 結婚式をあげるべきと思う理由を教えてください(単一回答)

(対象：結婚式をあげるべきと回答した人)



**「結婚相手が望むから」結婚をするべきとの回答は
男性11.1%、女性1.3%と9.8ptの差が**

4. 理想の有名人夫婦

**結婚30周年を迎える「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV3達成！
20～30代からの支持は「DAIGO・北川景子」夫妻がトップに！**

- 最後に、毎年恒例の「理想の有名人夫婦」について聞いてみました。
- 第1位は、今年結婚30周年を迎える「ヒロミ・松本伊代」夫妻。幅広い年代からの支持を集めて見事V3を達成しました。
- 第2位は、昨年と同じく「DAIGO・北川景子」夫妻。20～30代でみるとトップで、「夫のサポートで、妻が輝き続けているのを感じる」などの声もあがっており、夫婦ともに輝いているのはお互いのサポートがあるから、という印象があるようです。
- 第3位も昨年同様、「唐沢寿明・山口智子」夫妻。特に50代からの支持を集めてランクイン。
- 第7位の「賀来賢人・榮倉奈々」夫妻は、昨年の20位から大きくジャンプアップ。“2人ともおしゃれで素敵”などの理由で、特に20代からの人気が高くなっています。

Q. 理想の有名人夫婦は（単一回答）※敬称略

理想の有名人夫婦トップ10

順位	理想の有名人夫婦	占率	回答者数	昨年順位
1位	ヒロミ・松本伊代	10.2%	166人	(1位)
2位	DAIGO・北川景子	9.0%	146人	(2位)
3位	唐沢寿明・山口智子	4.5%	73人	(3位)
4位	桑田佳祐・原由子	4.1%	67人	(4位)
5位	藤井隆・乙葉	4.0%	65人	(7位)
6位	杉浦太陽・辻希美	3.3%	54人	(6位)
7位	賀来賢人・榮倉奈々	3.2%	52人	(20位)
8位	佐々木健介・北斗晶	3.0%	49人	(5位)
9位	宇崎竜童・阿木燿子	2.7%	44人	(13位)
10位	星野源・新垣結衣	2.5%	41人	(12位)

順位	理想の有名人夫婦	占率							男性							女性						
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	20代	30代	40代	50代	60代	70代			
1位	ヒロミ・松本伊代	10.2%	5.9%	9.6%	12.2%	17.8%	8.5%	7.4%	9.1%	6.7%	10.4%	13.3%	13.3%	5.2%	5.9%	11.4%	5.2%	8.9%	11.1%	22.2%	11.9%	8.9%
2位	DAIGO・北川景子	9.0%	11.5%	14.8%	11.1%	4.4%	5.9%	6.3%	8.4%	11.9%	13.3%	10.4%	3.7%	5.2%	5.9%	9.6%	11.1%	16.3%	11.9%	5.2%	6.7%	6.7%
3位	唐沢寿明・山口智子	4.5%	1.9%	3.0%	6.3%	7.0%	5.6%	3.3%	3.1%	1.5%	1.5%	2.2%	6.7%	4.4%	2.2%	5.9%	2.2%	4.4%	10.4%	7.4%	6.7%	4.4%
4位	桑田佳祐・原由子	4.1%	-	0.7%	2.2%	7.4%	9.3%	5.2%	4.2%	-	1.5%	3.0%	8.9%	8.1%	3.7%	4.1%	-	1.5%	5.9%	10.4%	6.7%	
5位	藤井隆・乙葉	4.0%	2.6%	7.8%	8.1%	4.1%	1.1%	0.4%	3.6%	2.2%	7.4%	7.4%	3.7%	0.7%	-	4.4%	3.0%	8.1%	8.9%	4.4%	1.5%	0.7%
6位	杉浦太陽・辻希美	3.3%	10.4%	4.8%	2.6%	0.4%	0.7%	1.1%	1.9%	3.0%	3.0%	3.0%	0.7%	0.7%	4.8%	17.8%	6.7%	2.2%	-	0.7%	1.5%	
7位	賀来賢人・榮倉奈々	3.2%	7.8%	4.1%	3.3%	1.9%	1.1%	1.1%	2.7%	6.7%	3.7%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	3.7%	8.9%	4.4%	5.2%	2.2%	0.7%	0.7%
8位	佐々木健介・北斗晶	3.0%	2.2%	2.2%	4.1%	3.3%	3.0%	3.3%	2.7%	0.7%	3.0%	3.0%	1.5%	3.7%	4.4%	3.3%	3.7%	1.5%	5.2%	5.2%	2.2%	2.2%
9位	宇崎竜童・阿木燿子	2.7%	0.4%	0.7%	-	2.2%	5.6%	7.4%	2.3%	0.7%	1.5%	-	2.2%	3.0%	6.7%	3.1%	-	-	2.2%	8.1%	8.1%	
10位	星野源・新垣結衣	2.5%	4.8%	5.6%	1.5%	1.1%	1.1%	1.1%	2.8%	5.9%	5.2%	1.5%	0.7%	1.5%	2.2%	2.2%	3.7%	5.9%	1.5%	1.5%	0.7%	-

※各項目トップ3を網掛け表示